



# 楠の葉

佐賀大学同窓会報 第22号

発行日 2015年1月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内  
TEL 0952-23-1253  
FAX 0952-25-5700  
E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp  
ホームページ http://dousou.ext.saga-u.ac.jp

編集代表者 中島道夫



## 活動方針の実現に向けて

佐賀大学同窓会会長 金丸安隆 (農学・S43年卒)

実りに感謝し、収穫祭や祭りで華やぐ秋は、各地の同窓会支部総会も目白押しとなります。11月8日の東京支部総会では、例年のように和田支部長による巻頭言、寮歌とストーム（踊り）が披露され大いに盛り上がりました。この寮歌と巻頭言は同窓生にとって青春のシンボルですが、継承者が少なく消滅の危機に瀕しており、同窓会としては佐賀大学の伝統芸能として保存、継承の必要性を強く感じています。そこで、梅崎前楠葉同窓会会長の熱演をDVD化し、支部会員の皆様に贈呈することとしました。本部役員も梅崎氏の指導を受け寮歌とストームの練習中ですが、来年度からは支部会員の皆様も先輩方の伝統芸能を継承できるように希望しています。

さて、今年度初めに同窓会の事業を全面的、効率的に見直すために5つの部会（庶務、支部強化、情報管理、学生支援、会報発行）を設け、取り組んでいることを21号に掲載しましたが、その進展具合を報告します。

支部強化部会では県内外の主要な都市に同窓会支部を新たに創設することを目標としました。その結果、関西支部は7年の休眠から陶山氏他関係者のご尽力により来年1月24日に総会、懇親会開催が決定しました。誠に喜ばしい限りです。さらに、熊本市、長崎市、宮崎市にも支部創設をお願いしているところです。また県内の佐賀市役所

では御厨副市長、西川社会教育部長、大野副課長様のご尽力により10年の休眠を経て8月8日に支部が結成され、その祝賀会には佛淵学長他各学部長も出席され盛大に開催されました。さらに、本家本元の佐賀大学教職員支部も7年の休眠を経て12月5日に結成式が開催されます。佐賀県内については県内を8地区とした各支部を創設し、5学部の同窓生が交流と親睦を深めることができると望んでいます。この新たな支部創設につきましては関係地区の同窓生皆様の格段のご協力・ご支援をお願いいたします。

庶務部会では他の部会と連携を図り、各事業の円滑な推進を目標にしています。平成27年度の事務局体制の確立や役員の学習会、予算や人件費の管理等できることから随時改善しています。学生支援部会では学生支援のあり方について協議しています。今までは「キャリアデザイン講座」を主眼に各学部の卒業生の皆さんに講演をお願いしていましたが、これからは各学部の学生に対し、「就職ガイダンス」やインターシップ支援等が検討されています。情報管理部会は同窓生に関する基礎情報の収集や名簿の管理を目的とし、さらに各学部の名簿の一元化に取り組んでいます。会報発行部会では会報の発行やその伝達、発送の方法等を検討しています。

本年もよろしく願い申し上げます。

# 支部だより

## 筑後支部総会・懇親会

平成26年10月18日(土)柳川市内の「勝島」において、表記総会・懇親会を開催した。本部から金丸同窓会会長以下、各部代表5名のご参加をいただき、会員から31名(うち女性4名)の参加があった。会に先立ち、川副会長(農



支部長 大村 直 (農学・S40年卒)

44) が、アトラクション「笑って健康・落語入門」を紹介。落楽亭粹夢(本名山口俊治)氏(農49)が出演された。氏は現在、老人ホーム、敬老会、研修会などで小話を演じられているとのことである。笑いと呼吸の関係、笑いが体内で良い分泌物を促すなど健康に良いとの話を交え、最後は有名な「小言念仏」で締めくくられた。

金丸会長(農43)のあいさつでは、佐賀大学が有田窯業大学を統合すること、あわせて文化教育学部を廃止と教育学部と芸術学部の創設が決定しており、魅力ある大学づくりに邁進している様子が紹介された。また、大学主催のホームカミングデーでは、卒業生(卒後20、30、40年目の人)を招待していることも紹介された。

支部の支援として、同窓会活動が現在休眠中の3県について、会長、副会長が出かけていき、再立ち上げに努力していることも説明され、筑後支部もさらなる活性化が必要だと痛感した。その後懇親会となり、想い出や近況を語り合う場となった。最後は福田氏(文理49)の発声により巻頭言「南に遠く」の踊りの輪が所狭しと広がり、学生歌「楠の葉の」で締めくくり2年後の再会を確かめた。

## 沖縄支部総会・懇親会

平成26年6月21日(土)午後7時から、那覇市内の「サンプラザ海邦」において、沖縄支部の総会・懇親会を開催しました。本部からは同窓会本部会長代理として、宮尾有朋会会長を始め楠葉・理工・農学の各同窓会代表5名と支部会員11名が参加しました。

今回は、本部事務局から理工学部関係25名、支部でも医学部5名、経済学部20名と支部名簿未登載の会員にも案内するなど、従来にない取り組みを強化したにも拘らず、残念ながら少数の参加でした。

会は、「悠々知酔」での乾杯に引き続き、ご来賓の方々から大学や同窓会活動の近況を伺い、母校への想いを馳せました。支部会員からもそれぞれの学生時代の思い出や近況報告を兼ねた自己紹介を行い、和やかな交歓になりました。

最後は「南に遠く」を全員で乱舞して盛会のうちに二

次会へと流れました。

ここ数年懇親会参加者が増えないのが気になっていますが、今回の取り組みで、沖縄県内在住の可能性のある同窓生(支部名簿未登載)がかなり居る事が判りました。今後はまめな勧誘で会員拡大を図ってまいりたいと考えています。

支部長 平良 克次 (経済・S46年卒)



## 平成26年度佐賀市役所支部総会・懇親会を開催

平成26年8月8日(金)に平成26年度佐賀市役所支部総会・懇親会が佐賀市内の「グランデはがくれ」において、会員45名(会員数約110名)、佛淵学長、金丸同窓会会長はじめ来賓11名の出席のもと開催されました。

佐賀市役所支部は、平成11年度を最後に支部活動が停止状態でした。そうした中、平成24年11月に当時の宮島同窓会会長と深川事務局長が佐賀市役所を訪問され、「是非、市役所支部を再スタートしてもらいたい。」との依頼・相談があったところです。

そこで、平成25年2月15日(金)に佐賀市役所支部設立総会を開催したところですが、平成25年度の活動は休止状態でした。

こうした状況の中、改めて本年5月に金丸同窓会会長をはじめ、各学部の同窓会会長の皆さんが顧問である副市長を訪ねてこられ、佐賀市役所支部活動の活性化を要請されました。

平成26年度総会では、新会則の承認、新役員・事務局体制の承認を受け、再スタートを切ったところです。

佐賀市役所と佐賀大学は平成19年11月に「相互協力協定」を締結しています。

そうしたことから、佐賀大学・佐賀大学同窓会との連携を深め、会員拡大を図りながら佐賀市役所支部活動を継続・発展させていかなければと考えております。

支部長 西川 末実 (経済・S53年卒)



## 佐世保支部「むつごろう会」総会・懇親会

平成26年11月15日(土)15時より佐世保駅前レオプラザホテルにて第18回「むつごろう会」を開催しました。本部からは同窓会会長金丸安隆氏、有朋会会長宮尾正隆氏、楠葉同窓会理事中野啓太郎氏、農学部同窓会会長川副操氏、理工学部同窓会理事中島道夫氏にご臨席を賜り、支部からは女性3名を含む19名、総勢24名の出席でした。今回は同窓会より佐賀大学統合10周年記念誌「佐賀大学の物語」を出席者全員に贈呈して下さり誠に有難うございます。

総会は、会計報告のあと役員改選を行い、新会長に白井寛氏(文理・34年卒)、副会長に前事務局長森達郎氏(教育・35年卒)、新幹事に浦川俊介氏(文理・29年卒)、田淵尚一氏(農学・42年卒)が満場一致で選任されました。

総会のあと、江島麗介氏(教育・29年卒)に「1945年6月29日の佐世保」という演題で講話をしていただきました。江島氏はNPO法人「佐世保空襲を語り継ぐ会」会員として市内の小中高の児童生徒に自らの体験をもとに語り継いでおられます。

佐世保空襲は、1945年(昭和20年)6月28日23時50分頃から2時間に及んだ米軍機B29 141機による焼夷弾爆撃です。1,229人が死亡し、市内全戸数の35%にあたる12,000戸余りが全焼しました。江島氏は焼跡の写真をスクリーンに映しながら生々しい体験を語られました。当時、私は福石国民学校の6年生でした。スクリーンに母校が映し出された時、不安に戦きました。家を焼かれ、家族と一緒に阿鼻叫喚の中を、火の雨の中を逃げ惑った悲惨な思いがこみ上げてきたのです。



佐世保空襲から69年経った今、憲法9条のお陰で平和に暮らせる幸せをしみじみと感じています。

さて、懇親会は16時30分頃から始まりましたが、金丸会長他3名の方々が今夜は諫早支部の同窓会に出席しなければならないとのことで、挨拶もそこそこに中座されました。誠に残念で申し訳なく思っております。最後まで残ってくださった中島道夫様を囲み、酒を酌み交わしながら秋の夜長を楽しく過ごすことができました。終わりにご寄贈のDVDを視聴しながら寮歌「南に遠く」を輪になって踊り、顧問の十時淳氏(文理・30年卒)の万歳三唱でお開きとなりました。最後になりましたが、私はこのたび「むつごろう会」支部会長を退任することになりました。平成18年から8年間、皆様方のご支援、ご協力のお陰で重責を果たすことができました。本当に長い間ありがとうございました。次回からは白井新会長を中心に2年毎に「むつごろう会」が開催されます。尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 支部会長 杉原 義秋(教育・S31年卒)

## 諫早支部懇親会

平成26年11月15日(土)、L&Lホテルセンリュウにおいて開催した。

本部より金丸会長ほか4名の来賓を迎えての開催であった。当日は、佐世保支部の総会と重なり来賓の方々には、佐世保支部の懇親会を途中で切り上げられ、そのまま列車に飛び乗っての来諫で、強行軍を強いてしまい申し訳ない限りであった。

到着を待つ間、本部より送っていただいた、巻頭言「南に遠く」のDVDを鑑賞した。昔と今の佐大の様子が映し出され感慨を深くしたものである。

全体写真を撮り、荒木事務局長の司会で始める。

まず会長より、本日の参加者及び来賓への感謝の言葉、そして毎年開催している懇親会への参加が固定していること、どうしたらもっと参加者を増やすことができるか問題が投げかけられた。

この後、金丸会長より佐大及び同窓会の現状の説明を頂いた。

乾杯の後歓談に入り、それぞれのテーブルで話が弾ん

でいた。

途中で宮尾有朋会会長・中野楠葉同窓会理事・秋永理工学部同窓会会長・川副農学部同窓会会長より各学部の現状を紹介してもらった。

歓談の中で、今日の参加者で今後運営委員になってもらい、この会の参加者がもっと増えるように知恵を出し合っていこうと話した。

最後に泉副会長の一本締めで懇親会を終了した。

参加者は17名と少なかったが新しい顔も見られ有意義な懇親会であった。

支部会長 長濱 孝基(教育・S38年卒)



# 支部だより

## 大分県支部総会・懇親会 OITA

平成26年10月25日(土)、大分市内の「大分アリストンホテル」において、大分県支部「豊後はがくれ会」の総会・懇親会が開催されました。

同窓会本部から、金丸同窓会会長をはじめとする5名の来賓にお越しいただき、支部会員24名(うち女性2名)が参加して盛会に行われました。

支部長あいさつ、来賓を代表して金丸同窓会会長、宮尾有朋会会長にあいさつをいただいた後に総会を開催。総会では、1年間の経過報告が承認され、新たな1年が始まりました。

続いての懇親会は楠先輩の乾杯で開宴。今年は、毎年のように参加される方が数名出席できなかった一方で、初参加や久しぶりの参加となった方も数名あり、あちこちで笑顔がはじける楽しいひとときとなりました。

宴会では、本部から届けられた寮歌「南に遠く」のDVDを上映し、島田元支部長の音頭のもとみんなで合唱しました。不知火寮を知る世代が減少するなかで、古

き伝統を伝えていくことも同窓会の役割の一つかな…と感じた次第です。

もう一つ、新たな取り組みとして、童心に返っての「勝ち抜きじゃんけん大会」をやってみました。意外!?!にもみんな真剣で、「若えもんには負けンで」とか「あんたグーを出しよえ」などと揺さぶりをかけるなど、熱戦が繰り広げられました。初代チャンピオンに輝いた宗さんは、「来年は連覇を目指します!」と早くも来年に思いを馳せていました。

学生時代の昔話や近況報告、仕事や趣味の話など楽しい会話に酒もすすみ、あっという間に時間は過ぎて終宴の時間。来年の総会での再会を約束して散会しました。

まだ見ぬ大分県支部会員の皆さん、来年は是非お会いしましょう。

事務局 佐藤 吉昭(農学・H元年卒)



## 東京支部総会・懇親会 TOKYO

2年ごとに開いております総会・懇親会を平成26年11月8日12時から、新橋「新橋亭」において、開催致しました。来賓として大学から沸淵学長、同窓会から金丸会長外各学部の代表者の参加をいただき、56名(うち女性12名)の出席のもと賑やかで楽しい集いになりました。学長からは昨年の大学・医科大学統合10周年に係る話、美術館オープンについての話等最新のホットな情報を熱く語っていただきました。同窓会会長からは同窓会の活性化を目指し、会則の改正による専門部会の設置、各地の支部総会に精力的に参加している等活動状況の報告を受けました。今後の母校の更なる発展を期待しています。懇親会では酒杯を酌み交わしながら、和気あいあいとした雰囲気の中、自己紹介あり、身振り手振りで学生時代の思い出を語り合っている人達と、笑顔一杯

の至福の時間の連続でした。閉会前には不知火寮寮歌「南に遠く」を巻頭言の後、同窓会の陣羽織を羽織り昔に返り元気に歌い踊りました。最後は学生歌「楠の葉の」を全員で高らかに合唱し幕を閉じました。参加の皆様本当に有難う御座いました。再会を楽しみにしています。

東京支部長 和田 紘一(文理・S40年卒)



有朋会(佐賀大学教育学部・文化教育学部同窓会)歓迎チャレンジイベント

# 佐賀大学本庄キャンパス 「ウォークラリー大会」始めました!

有朋会（佐賀大学教育学部・文化教育学部同窓会）では、前回の同窓会報第21号で紹介しました会員向けイベント新企画「キャンパス婚」に続きまして、平成26年度からの第2弾新企画として、歓迎チャレンジイベント「佐賀大学本庄キャンパスウォークラリー大会」を始めました。

20代～40代の若手会員をターゲットにした婚活イベント「キャンパス婚」は、卒業生の同窓会離れが課題となっているなか、男女の出会いの場をつくるとともに、卒業生のつながりを広げようという意味合いを込めて有朋会の更なる活性化を目指したものでした。今回新企画の歓迎チャレンジイベント「佐賀大学本庄キャンパスウォークラリー大会」は、課題となっている卒業生の同窓会離れ対策第2弾として、準会員として位置付けられている在学生（現在、佐賀大学入学手続き時に年会費10年分を一括して納入するシステムになっているため）を対象とした取り組みです。在学中から有朋会という文化教育学部の同窓会組織に関心を持ってもらうために、まずは事務局のある佐賀大学菱の実会館を訪ねてもらいたいという思いを込めて、このような企画を始めました。有朋会事務局とのコミュニケーションのきっかけづくりです。

ウォークラリーとは、「コマ図」と呼ばれる地図を頼りに決められたコースを散策しながら、そのコースの途中に設けられている「チェックポイント」の課題をクリアしていくリアル版ロールプレイングゲームのようなニュースポーツです。

今回は、新入生をメインターゲットに考え、佐賀大学本庄キャンパスを知ってもらえるように、有朋会事務局のある菱の実会館をスタートとゴール地点として、キャンパス内を1周するコースで、佐賀大学にちなんだ3つのチェックポイントを設定しました。以下に、チェックポイント（CP）の課題を紹介します。

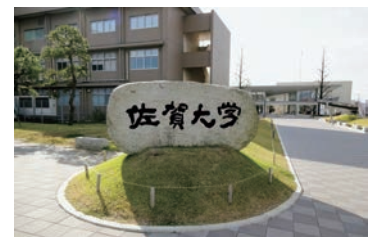
ちなみに、この企画に参加した学生には「カッチーくんグッズ」を参加賞としてプレゼントしています。

CP 1：昔の学生姿の銅像の前で、「有朋会のFacebook」を探してください！（携帯やスマホのインターネット検索エンジンをひらき

「佐賀大学有朋会Facebook」と入力し、ページを開き「いいね」ボタンを押しましょう！）

CP 2：正門入口から見た時計は何の時刻を表しているでしょうか？

CP 3：佐賀大学と書かれた石を探し、その前で写真を撮影してゴールした時に見せてください！



在学生を対象に取り組みが始まった今回の歓迎チャレンジイベント「佐賀大学本庄キャンパスウォークラリー大会」ですが、卒業生のみなさんも是非チャレンジしてみませんか？お気軽に佐賀大学菱の実会館内の有朋会事務局を訪ねてください。美術館もカフェも新設された佐賀大学本庄キャンパスを散策して、カッチーくんグッズをゲットしましょう！

文責 堤 公一（教育・H6年卒）

# 平成26年度を振り返って

平成26年度は、楠葉同窓会にとって記念すべき年となりました。会報「なんよう」の100号記念号発行をはじめ、毎年8月恒例の同窓会懇親会も、本年はこの3月に大学統合10周年記念事業により建設された佐賀大学美術館で行われました。また、経済学部は再来年創立50周年を迎えられ、本年度から3か年

の記念事業が予定されております。他方、悲報として、同窓会に永年ご協力いただいた久原直行元同窓会長及び会報「なんよう」に64回に渡って「歌は流れる」を寄稿された大谷希幸氏のご逝去がありました。先輩各位のご貢献を深謝申し上げますとともに、大谷氏を追悼された下記寄稿文をご紹介します。

## 寮歌「吾等不知火」

初めて「楠の葉」に寄稿させてもらう機会を与えて頂き厚く御礼を申し上げます。

旧制佐高以来の「不知火寮」に入れさせて頂いた者は、大学時代は不知火寮で始まり不知火寮で終わったという人が多いと思いますが、私も典型的なその中の一人だと思います。入寮させるべく許可して頂いた選考委員の方々に、実に半世紀経って厚く御礼を申し上げたいと思います。

兎に角、若い時に寮生活を経験するかしないかでその人間の成長の仕方が随分と変わると思いますので、子供は是非寮生活をさせるべきだと思います。やはり入寮直後に、特訓で旧制佐高の寮歌を教えて頂いた事が、まず有難かったと思います。皆さん若いのに、実に立派な寮歌を作られたと感心します。

一発目の寮歌は、私達の時は逍遙歌として習いましたが、アメリカ大使をされた武内龍二大先輩が作られたものです。次はやはり、1年の後半で厚生部長をさせて頂いた事でもあります。どこの大学も合格しませんので2年も浪人して佐賀大学に来ておりました。その上母一人苦勞しておりましたから大学に入れば勉強せねばならぬと思っていましたから、強くお断り致しましたが、是非にという事でお受けしました。これがやはり素晴らしい経験をさせて頂くスタートになったと思います。それ故、2年生の前半に寮総務をさせて頂く事になりました。卒業していかれる4年生の主だった方々が、お前が総務にならなければ俺達は卒業できないとまで言われたら

元福岡県筑紫野市長 **楠田 幹人** (文理・S41年卒)  
受けざるを得ないと思って受けさせて頂いた事を昨日の事のように思い起されます。

厚生部長の時、寮設立40周年を迎えましたが、新制佐賀大学になってからは一つも寮歌を作っていませんでしたから40周年の記念寮歌を作ろうという事になり、募集を致しましたが一つも応募が無く、和田総務に君作れと言われ、明日印刷に出す事になっていたので一晩で作るはめになり、作った「吾等不知火」は、笑われるような駄作になった事は言うまでもありません。しかし、卒業後、招いてもらった寮祭で、後輩諸君が皆立ちあがって歌ってくれたのには、びっくりし感激したのを覚えています。800字という事で、書きたい事がほとんど書けませんが、最後に、不知火寮ありがとうございましたと申し上げたいと思います。今は残念乍らなくなっておりますので、卒寮生皆で力を合わせ、この素晴らしい不知火寮を再興したいと遺言いたし、ペンを置きたいと思います。謝々。

(追記) 先日、残念乍ら、亡くなられた大谷希幸先輩のご冥福を心からお祈りし、天国から不知火寮再興の為、力を貸して下さいとお願いしたいと思います。



孫と女房と

## 厚生労働省における医系技官の仕事について



厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室 大座 紀子 (医学部・H16年卒)

私は平成26年4月1日より厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室室長補佐に着任しました。当室では、1) 肝炎治療促進のための環境整備(医療費助成)、2) 肝炎ウイルス検査等の促進、3) 健康管理の推進と安全・安心の肝炎治療の推進、肝硬変・肝がん患者への対応等、4) 国民に対する正しい知識の普及啓発、5) 研究の推進を5本の柱として、平成26年度予算187億円を計上し、肝炎総合対策を行っております。最近では、本邦初の飲み薬だけで治すC型肝炎治療薬に対する医療費助成を開始したところですが、これらの業務を計8名の室員で運用しております。

さて、医系技官とは「人々の健康を守るため、医師免許・歯科医師免許を有し、専門知識をもって保健医療に関わる制度作りの中心となって活躍する技術系行政官のこと」で、要は医師免許又は歯科医師免許を持ったお役人です。医系技官は厚生労働省内で「国民生活の保障・向上」と「経済の発展」を目指し、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進と、働く環境の整備、職業の安定・人材の育成を推進するために、非常に多岐に渡る業務に携わります。その他の省庁や、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、医薬品医療機器総合機構(PMDA)等の関係機関、検疫所、国立感染症研究所、地方厚生局等の附属機関、WHO、国連合同エイズ計画(UNAIDS)等の国際機関でも、幅広く活躍しています。厚生労働省全体の在職者数は約30,000人、医系技官は約250人で、医系技官は全医師数の0.1%にも満たない少数派だ

そうです。

医系技官になるには、大きく2つの方法があります。卒後2年間の臨床研修修了後に小論文と面接を経て採用されるか、所属医局や学会・病院等の要請を受けて一時的に出向するかです。前者は臨床研修修了後の若手が多く、後者は各専門領域の特色を活かした課室に携わることが多いため、専門医を取得した卒後10年目前後の医師が多い印象です。私は後者で、入局先の佐賀大学肝臓・糖尿病・内分泌内科より命を受け、2年の任期で出向しております。

と、ここまであちこち調べて書いてきましたが、私自身、年の瀬も近づいた某日、突然上司に「来年度から東京行ってきて。厚労省。」と言われるまでは、医系技官という職業があることすら知りませんでしたし、東京といえば学会でたまに訪れて美味しいものを食べるころとしか思っていませんでした。まさかそこに住んで仕事をするようになるとは夢にも思っておらず、狐につままれたような気持ちで上京したところですが、白衣の代わりにスーツに身を包み、1日中PCデスクワークで、飛び交う行政用語や未知の行政業務、電話対応、議員・国会対応、大量の紙文書の取り扱い、厚生労働科学研究班会議出席等、非常に多岐に渡る業務の中で、学部5年次に右も左もわからないまま病棟実習が始まった時と同じ感覚で過ごしています。

最後になりますが、本稿を通じて医者がやる臨床以外の仕事、医系技官というお仕事について少しでも知って頂けたら幸いです。

# 卒業生へのメッセージ

## —電気電子工学科の近況—

19



電気電子工学専攻 専攻長 古川 達也

電気工学科、電子工学科、電気電子工学科（1997年改組）、電気工学専攻、電子工学専攻、電気電子工学専攻（1997年改組）の卒業生ならびに修了生の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。この会報で、電気電子工学専攻・電気電子工学科の近況について報告する機会を頂き誠に有難う御座います。

私事で恐縮で御座いますが、弊職は、昭和61年（1986年）4月から佐賀大学理工学部電気工学科（平成5年に電子工学科へ配置換）に奉職以来、早28年6ヶ月になります。当時の入学生は、40歳代後半になり、最初の卒論生は、既に50歳代になることでしょう。当時、彼らは、年の離れた弟のような存在でしたが、既に、我が子と同世代の卒論生や教え子の子弟も入学してくるのを考えると、つくづく年をとった気がします。

古川と聞けば、単位を落とされたとの記憶しかないかもしれませんが、あの辛さを思えば、仕事での辛さなど何とも思わなかったでしょう?!教え子で佐賀県立工業高等学校の教員をしている卒業生からは、「古川先生の説教は、後から身に沁みる。」との話を伺っておりますので…。

話は変わって、卒業生・修了生の皆様にこの紙面を借りて、真っ先に報告しておきたいことは、右写真に示しますように、平成25年3月に改修が終了した新しい学科建物です。改修された旧電子工学科棟北側が電気電子工学科の正面玄関になりました。当時、身障者用のスロープを上った通用口のような電子工学科入り口は、現在は封鎖され、旧電気工学科棟とは、一本の廊下で結ばれ、夏の湿気、冬の寒さもとても懐かしくなりました。さらに、長年の懸案であったエレベーターも電気電子工学科北棟の新玄関に設置され、旧電気工学科棟（5号館南棟と呼ばれる）へもバリアフリーで移動できるように

なっています。

恐らく殆どの卒業生・修了生の大半の方は、学科推薦で現在の職に就かれたと思いますが、現在も学科を挙げて在学生の就職支援に努めており、平成24年度は、近年では稀な名実ともに就職率100%（既卒者なし）を達成しました。これに対して、現学長の佛淵孝夫先生からGP（Good Practice）として全学に紹介されました。このような実績を上げることができたのも、偏に卒業生・修了生の皆様が社会から高い評価を得ていることの賜物と拝察しております。



電気電子工学科北棟（旧電子工学科棟）



電気電子工学科南棟（旧電気工学科棟）

話をまとめるにあたって、是非、一度母校にお出でいただき、変貌する佐賀大学、電気電子工学科を目の当たりにして頂きたいと考えている次第で御座います。

最後に皆様のご健康を心から祈念申し上げます。



## ワクワク・ドキドキを人類のために

農学部 地圏環境学 徳本 家康 (農学・平14年卒)



私の“32年間の学生生活”に様々な思いを馳せながら、2014年3月1日に佐賀大学農学部の助教として着任いたしました。拝読頂く学生や佐賀大学OB・OGの方は、この文章の出だしに驚き・困惑といった憶測が錯交すると思いますが、私の自己紹介も含めて、これまでの私の経緯や大学に戻ってきた印象および今後の抱負について簡単に述べたいと思います。

私が佐賀大学農学部の学部3年生に編入したのは、2000年の春でした。有明工業高等専門学校で化学を専攻した私は、農家の倅です。私の主張は、「これからは環境の時代だ。そして、食べ物なくして人は生きれないから、農業は今以上に着目されるはず。」でした。その背景には、砂漠緑化や農薬による環境ホルモンなどへの関心の高まりがあり、環境という視点から物質循環を把握するのに私の選んだ学科が現在の生物環境科学科でした。佐賀大学の修士課程まで、室内カラム実験における水や肥料の溶脱現象に魅了され、それを圃場の物質輸送現象の把握へと発展させるのに岩手大学大学院連合農学研究科の博士課程に進学しました。博士号取得後には明治大学で研究員として働きましたが、土壌-大気間における物質循環を学ぶために、テキサスA&M大学で2つ目の博士号を取得する思い切った決断に踏み切りました。この時の周囲の反応は様々で、私の決断は無謀な計画にも取られました。理由は、アメリカで博士の学位取得には5～8年程度を要し、留学生生に対する学費は年間210万円に達する厳しさのためでした。その一方で、研究資金の潤沢な研究室では、す

べての学費を面倒みてもらえる上に、研究もしくは講義のアルバイトをやることで毎月15万円の収入が見込めます。私は不安よりも期待や可能性に胸を膨らませながら、アメリカでの研究生活を楽しみました(徳本, 2013)。アメリカでは、野外のダイナミックな水循環の研究に取り組み、そこで培った研究教育体制のノウハウやこれまでの経験を母校 佐賀大学に還元しようと現在奮闘中です。

佐賀大学に戻ってきた印象は、医学部との融合や地域連携を図る大学の方針に、学生の可能性をより一層引き出せる環境が整っていることでした。学生の可能性に上限はありません。今後は「一生勉強、一生青春」の言葉を胸に、学生と研究教育を楽しむ所存です。

参考文献：徳本家康(2013). 2つ目の博士号を取得して. 土壌の物理性 124, p.51～53



テキサスA&M大学 卒業生の象徴であるAggie ring彫刻の前にて

同窓生の**職場** 23

## 福岡県・建築都市部都市計画課

「都市計画は、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保すべきこと並びにこのためには適正な制限のもとに土地の合理的な利用が図られるべきことを基本理念として定めるものとする。」(都市計画法第二条)

冒頭から堅苦しい文面となってしまいましたが、現在私が携わっている仕事についてはこの一文に集約されています。

私は現在、福岡県建築都市部都市計画課に勤務しております。現在の業務に就いてまだ2年目で力不足かと思いますが、都市計画とは何かということを中心に説明し、業務内容について少し触れさせていただきます。

まず都市計画とは、現在の都市計画法から引用しますと、「都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画」というものになります。この“土地利用”“都市施設の整備”“市街地開発事業”が都市計画の三本柱として成り立っています。

小難しい文章ばかりですが、都市計画とは、10年、20年先を見据えたまちづくりということです。どこに何の施設を建て、どこに道路を通し、どのような景観を守っていくのか、使われていない土地をどのように取り扱っていくのか…、というようなまちづくりの基礎を考え、実行していくことです。

都市計画は10年、20年先の計画を立てていくものなので、すぐ目に見えて成果が出るものではありませんが、そのまちの未来を考える仕事ですので、やりがい、責任感がある仕事に就かせてもらっています。

具体的に私が携わる業務の内容を説明しますと、都市計画法にあります都市計画の決定の手続きを行っています。

福岡県においては「福岡県都市計画基本方針」という県内の都市計画の方針を決めており、それに則した内容で各市町村は各々のまちづくりの方針を考えていきます。

この市町村のまちづくりの方針(通称、都市計画マスタープラン)を策定する際に、県の方針に沿っているか、市町村が掲げる目標と合った方針かということを県と市町村で協議します。

そして市町村はその都市計画マスタープランに基づいて計画を実行(都市計画決定)していきますが、その際にも都市計画法と整合している計画か、都市計画マスタープランに記載されている計画かということを県と協議していきます。

この協議をしていき、都市計画を決定していくということが私の主な業務ということになります。市町村と協議を行うということで、多くの方と繋がる機会をいただくこともあり、また、都市計画は建築や土木だけの話ではないため、沢山の分野の方のお話を聞くこともあるため、大変勉強になっています。今後も多くの知識を得ながら、よりよいまちづくりへ貢献できるようになりたいと思います。

最後に、最近の都市計画について記させていただきましたが、少子高齢化、人口減少、という言葉が新聞報道などで日々目にする世の中において、これからどのような都市を計画していくべきか、というのが最近の課題となっています。これまでの都市計画は経済成長もあり、都市も成長していくという前提で進んできましたが、現在の都市は、経済成長時に多く建てられた団地には空き家が増え、郊外に建てられた大規模ショッピングセンターなども一因となり、まちの中心にあった商店街は衰退し、地方においてはバスなどの公共交通が廃止されている状況となっています。

まちづくりは行政だけで進むものではないため、皆さんが住んでいるまちにはどのような計画が立てられているのか、この投稿を読んでから興味を持っていただけたら幸いです。

石橋 佳奈(工学系研究科都市工学専攻・H24年度修了)



## ★ ★ ★ 写真を探しています。 ★ ★ ★

この数年、学校ではあっちこちで耐震工事が行われ、校舎の外観もかなり変化しています。昔を知る人には様変わりかもしれません。

同窓会では、思い出深い学び舎を中心に、デジタル資料として保存しておきたいと作業を始めました。皆様がお持ちの写真を送っていただくと貴重な資料として保存致します。写真は、作業が済み

次第お手元にお返し致します。

会員の皆様のご協力をお願いします。

佐賀大学同窓会庶務担当理事より

送り先 佐賀大学同窓会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 菱の実会館内

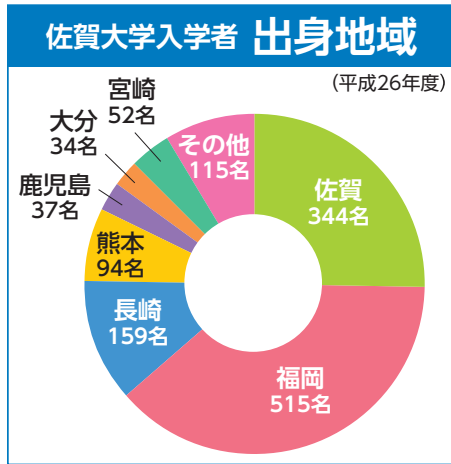
TEL 0952-23-1253 FAX 0952-25-5700

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp

# 佐賀大学広報誌「かちがらす」 31号より

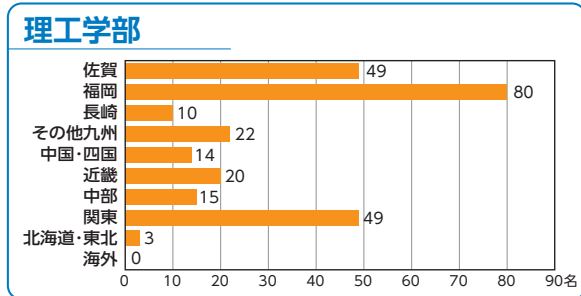
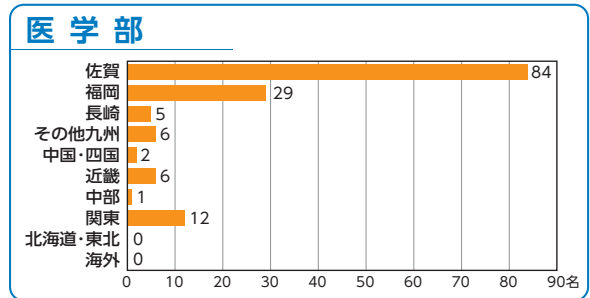
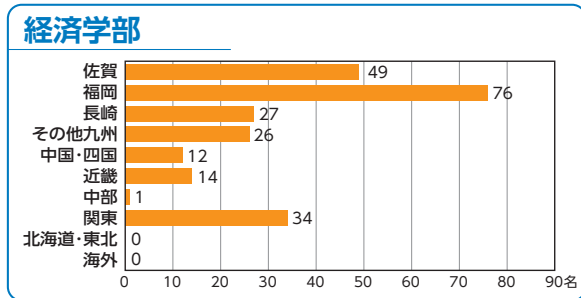
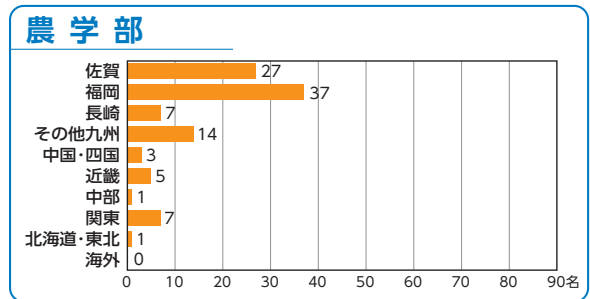
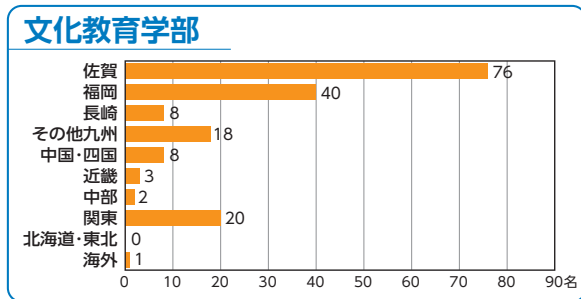
## 佐大生データ から 何が見えるか？

広報誌「かちがらす」のアンケートで、保護者の方からご要望の多かった学生のデータをまとめました。就職の情報や生活費、1週間の学生のスケジュールなど、参考になりましたら幸いです。(広報室)



	農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売	金融・保険	不動産取引・賃借・管理業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療/福祉	各種サービス業	公務員	その他	計
文化教育学部	1	1	13	0	6	1	22	10	1	9	1	13	70	10	3	15	0	176
経済学部	1	8	23	4	11	11	33	54	8	6	8	6	4	8	14	40	0	239
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	0	7	0	0	145
理工学部	2	37	82	2	39	10	15	8	2	20	4	3	8	3	5	21	1	262
農学部	0	3	32	1	2	0	19	5	0	5	2	2	4	1	9	17	0	102
計	4	49	150	7	58	22	89	77	11	40	15	24	86	160	31	100	1	924

## 地域別就職状況 (平成25年度)



- ### おもな就職先
- 文化教育学部：国公立学校教員/佐賀県庁/佐賀県警/福岡大学/明治安田生命保険/花王カスタマーマーケティング/日本食研/大和証券/他
  - 経済学部：佐賀県庁/福岡県庁/十八銀行/佐賀銀行/JR九州/日本生命保険/NTT西日本/第一精工/他
  - 理工学部：JR九州/ミヅタ/福岡銀行/大成建設/九電工/三菱電機/佐賀鉄工所/日立造船/JR西日本/他
  - 農学部：佐賀県庁/福岡県庁/山本海苔/山崎製パン/大塚製菓/宮島醤油/ニプロ/化学及び血清療法研究所/他
  - 医学部：佐賀大学/九州大学/久留米大学/長崎大学/好生館/九州医療センター/他

# キャリアデザイン講座

国立大学では最初の試みであったキャリアデザイン講座も今年で10年目を迎え、大きく変わってきた。一昨年辺りから、大学教育でもキャリア教育をするのが当たり前の流れに変化してきたようである。義務制の段階からキャリア教育、進路教育は行われており、当然の流れだろうか。

以前は、15コマ中10コマ、5学部から10名のOGOBが登壇していた。昨年度は、5コマ5名になり、本年度は、2コマ2名となった。ロールモデルとして体験を語り、後輩への篤いメッセージを伝えるのは変わらないが、全体の比重は大きく変化した。



古賀咲江（農学H24卒）

## 県庁はいいよと古賀さん 11月26日

農学部卒の古賀さんは、佐賀県庁の仕事の様子も紹介し、受講生のほとんどが、県庁の仕事領域の広さに驚いていた。県道での事故と瑕疵の問題に取り組んでいるという。学生時代に培った学習力で法律関係を研究しながら仕事に励む姿が浮かぶ。佐賀県庁志望が増える予感がする。



興梠靖典（経済H22卒）

## 東京から駆けつけた興梠さん 12月3日

経済学部卒の興梠さん。九州管内の総合職を期待していたらしいが、まさかの営業マン。しかも思わぬ東京本社の勤務という変化の中で、自分を冷静に見極め、営業活動に専心される姿に、大きな感銘を受けた。入学1年目で県人会を作り、30人超えの企画力は、営業活動の原動力になっているようだ。



## 内定者報告会(大学主催)後の懇談会(同窓会)

残念ながら報告会に参加した学生は少なかった。

内定者は、金丸会長、穂屋下理事長の問いかけにも喜びと希望が溢れていた。両親の期待とは違った会社を選んだ女子学生とは、「選択が間違っていなかったというのは、就職後のキャリアアップで応えよう」と、意見が一致した。

## 同窓会の動き (H26.7 ~ H26.12)

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>7.1 佐大同窓会会報「楠の葉」No21発行</li> <li>8.5 佐大同窓会「臨時代表役員会」</li> <li>8 佐大同窓会「佐賀市役所支部総会・懇親会」<br/>／グランデはがくれ</li> <li>9.1 佐大同窓会「代表役員会」</li> <li>2 佐大同窓会 大学との懇談会打ち合わせ</li> <li>4 佐大同窓会 キャリアデザイン講座打ち合わせ会</li> <li>17 佐大同窓会「情報管理部会」</li> <li>25 佐大同窓会「会報発行部会・会報楠の葉22号編集会議」</li> <li>10.2 佐大同窓会「庶務部会」</li> <li>9 佐大同窓会「第4回代表役員会」</li> <li>16 佐大同窓会「秋期定例役員会」</li> <li>18 筑後支部総会・懇親会／ランヴィエール勝島2F</li> <li>// 第3回佐賀大学ホームカミングデー参加</li> <li>25 大分県支部総会・懇親会／大分アリストンホテル</li> <li>28 佐大同窓会 熊本支部会立ち上げ打ち合わせ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>11.8 東京支部総会・懇親会／新橋駅前 新橋亭</li> <li>15 第22回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール</li> <li>// 諫早支部総会・懇親会／L&amp;Lホテルセンリュウ</li> <li>// 佐世保支部総会・懇親会／レオプラザホテル</li> <li>19 佐大同窓会「部長会・庶務部会」</li> <li>// 佐賀大学同窓会と就職内定者との懇談会／大学会館</li> <li>26 単位提供講座キャリアデザイン<br/>／講師 古賀 咲江氏（農学部）</li> <li>12.2 島原支部との情報交換会</li> <li>3 単位提供講座キャリアデザイン<br/>／講師 興梠 靖典氏（経済学部）</li> <li>5 佐大同窓会「佐大支部総会・懇親会」<br/>／菱の実会館多目的室</li> <li>11 佐大同窓会「第5回代表役員会・忘年会」<br/>／菱の実会館多目的室</li> </ul> |
|---|--|